

## 第3節

豊かな市民生活と元気な地域を支える

### 「仕事づくり」

□就労促進・起業支援

□農林畜産業等

□商工業

□観光

□定住・交流

(1) 就労促進・起業支援 ～子育ても仕事もあきらめないまち～

ア 女性の就労の促進

イ 若者・高齢者などの就労の促進

施策の概要

女性活躍推進プラットフォーム「アシスタ lab.(ラボ)」において、女性の就業・起業を支援する各種セミナーや個別相談、会員の起業に向けた事業試行のためのトライアル支援事業を実施し、女性が自らの意志により望む働き方を選択できるように、就業に向けた機運醸成や起業支援を行いました。

本市では女性起業家を「みよしアントレーヌ」として認定し、市広報紙やホームページで周知を図るなどの支援を行いました。

また、若者・高齢者などの起業を促進するため、補助金を交付し支援を行いました。

施策の成果

「アシスタ lab.」では、新型コロナウイルス感染症対策のもと、女性のチャレンジ意欲向上を目的としたセミナーや交流に取り組み、継続した支援を行いました。

また、12人を新たに「みよしアントレーヌ」として認定し(累計80人)、市広報紙やホームページに掲載するほか、女性起業家の活躍の場を地域に広げる取組として実施している「みよしアントレーヌ出張教室」の冊子に掲載するメニューを追加し、各住民自治組織へ配布するなど広く周知を図りました。

「アシスタ lab.」や起業支援事業などにより、市内で就業・起業するための環境整備につながっています。

事務事業の実施状況

■ 女性活躍推進プラットフォーム事業(地域振興部)

＜女性の就業・起業支援事業＞

女性が、それぞれのライフステージにあわせ、柔軟で多様な働き方を選択できるよう、起業セミナーや就職セミナーを実施するとともに、個別相談やトライアルをサポートするなど、就業・起業の支援を行い、「みよしアントレーヌ」として12人を認定しました(累計80人)。セミナーを17回、「先輩起業家トーク」など交流会を4回開催しました。また、会員のマルシェ出店のスキルアップ及び会員同士の交流促進を図るため、イベントを2回開催し、415人の方が来場しました。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策による施設利用の人数制限があり、定員数が限られるなか、セミナーを複数回に分けて開催することにより就業・起業支援を継続しました(各種セミナー17回/個別相談会21日/交流会4回など)。

コロナ禍で売上げが減少している飲食店や、女性起業家を対象としたセミナーのほか、インターネットでの集客を目的とした内容や、税理士などによる専門的で幅広いセミナーを開催し、起業後の継続した支援を実施しました。

令和3年度から引き続き、毎月第3土曜日を「アシスタ lab.XI ターン・U ターン移住相談日」として開館し、専任の移住コーディネーターと連携しながら、本市に移住・定住し、起業・就業を希望する女性の相談に対応しました。(令和4年度実績2件)



創業セミナー



専門家による個別相談

■ 起業支援事業（産業振興部）

活力ある社会創生による産業の活性化を図るため、新たに市内で起業する新規起業者に対し、起業に必要な経費の一部を助成しました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
女性の就業・起業支援事業	10,788	国県支出金 2,500 その他 300	7,988	アシスタ lab.会員数 456 人 アシスタ lab.利用者延 2,070 人 みよしアントレーヌ 12 人 (累計 80 人)
【みよし産業応援事業】 起業支援事業	8,281	起債 8,281		9 件
【みよし産業応援事業】 新規開業支援事業	511	起債 511		7 件
計	19,580	11,592	7,988	

## (2) 農林畜産業等 ～農業にふれたいくなるまち～

### ア 農林畜産業等の企業的経営の推進

#### イ 楽しく農畜産業等ができるまちづくり

##### 施策の概要

農業経営基盤を強化し収益性の高い農林畜産業を推進するため、認定農業者などの育成、アスパラガスや白ねぎ、ほうれんそうなどの重点品目の新規植栽などを支援し、農産物の生産振興と経営安定を図ったほか、薬用作物の試験栽培契約に基づく生産・出荷・研究やスマート農業モデル事業により、新しい農業の創出を図りました。

また、畜産経営支援のためのヘルパー利用や牛の購入経費の助成など、畜産経営の安定化を図りました。

##### 施策の成果

重点品目（野菜3品目・果樹1品目・花き1品目）を中心に生産拡大に向けたハウス栽培などの支援を行った結果、ほうれんそう・白ねぎ・ぶどうなどの作付面積が増加しました。

三次市薬用作物等栽培技術研究会において、試験ほ場では4品目の薬用作物の試験栽培を実施し、そのうち、薬品メーカーと試験栽培契約を締結した、ヒロハセネガ・カノコソウを重点品目として栽培しました。

三次市スマート農業推進協議会においては、ICTを活用した自動ロボット草刈機の実証など生産管理の省力化やアスパラガスの収量アップの取組など、経営の高度化に取り組みました。

また、畜産の経営規模の拡大支援や労働時間の短縮に向けた支援などの実施により、畜産の経営基盤の安定につなげました。

##### 事務事業の実施状況

#### ■ 農畜産物の生産力強化事業（農産物）（産業振興部）

##### ＜振興作物産地化推進支援事業＞

重点品目の産地化を進めるため、アスパラガス・白ねぎ・ほうれんそうの作付面積の拡大、機械購入などにかかる経費を支援しました。

##### ＜果樹・花き生産振興支援事業＞

ぶどう・菊の生産振興のため、新規植栽や規模拡大に必要な、ほ場の整備などにかかる経費を支援しました。

##### ＜麦・大豆等生産振興推進事業＞

加工品原材料の安定供給を図るため、麦・大豆・小豆・山の芋及びカーターピーナッツの栽培の拡大を支援しました。

##### ＜地産地消応援事業＞

三次産の野菜、果樹または花きの市内直売所などにおける販売促進や市内学校給食への提供のため、かん水施設設備やビニールハウス、機械の導入にかかる経費を支援しました。

#### ■ 薬用作物等試験栽培・研究事業（産業振興部）

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所及び学校法人東京農業大学と本市の気候・風土に合った薬用作物の栽培技術の共同研究を進めました。

また、生薬・漢方製剤などの原料の販売を行っている日本粉末薬品株式会社と試験栽培契約を締結し、販路の確保に取り組みました。

研修会を開催し、試験栽培農家の募集を行い、新たに7戸の試験栽培者が加わりました。

また、試験ほ場では4品目の薬用作物の試験栽培を実施し、そのうち、ヒロハセネガ・カノコソウを重点品目として推進しました。

#### ■ スマート農業モデル事業（農業）（産業振興部）

ICTを活用した農業の推進を目的として、アスパラガス環境制御ハウス導入モデル事業に対する支援、果樹園地での自動ロボット草刈機による省力化の実証、農業版iCD（農業版iコンピテンシディクショナリ：農業に関する業務と必要な能力を体系化し、習熟度の評価を行うことで、経験則に頼らない、効率的な人材育成を図るシステム）を活用した生産者育成支援プラットフォームシステムの開発支援を行いました。

#### ■ （仮称）みよしアグリパーク整備事業（産業振興部）

三次産ワイン醸造用ぶどうの生産力強化を図るため、株式会社広島三次ワイナリーの新たなぶどう園地の整備にかかる土壌改良工事やぶどう棚の設置工事などを行いました。

トレッタみよし周辺エリアでは、事業用地の取得を進めるとともに、官民連携手法調査による県内外の民間事業者等から意見などの聞き取りを行いました。

#### ■ 機能性作物等活用事業（産業振興部）

農業所得の向上と農業経営の安定に資するため、既存の地域資源の価値の向上や新たな価値の創出に向けた取組に対して、支援を行いました。

#### ■ 農畜産物の生産力強化事業（畜産）（産業振興部）

和牛経営規模拡大をめざす畜産農家に対し、飼養管理の省力化と自給飼料の生産確保による低コスト化を図るため、水田放牧牛の導入やICTの活用などの条件整備にかかる経費を支援するとともに、優秀な繁殖雌牛の保留を推進するため、保留対象雌牛の遺伝子及び染色体を分析することで、その雌牛の遺伝的な能力を推定する「ゲノム育種価検査」に要する経費を支援しました。

また、三次産まれ、三次育ちの「みよし和牛」のブランド化を目的として、和牛肥育農家に対し、三次産素牛の購入にかかる経費を支援するとともに、関係機関と連携して市内小売店での「みよし和牛」の販売を行いました。

酪農家に対し、年中無休状態の解消として、定期的または臨時的に利用するヘルパーに要する経費の助成を行いました。また、酪農経営規模の拡大と経営の安定化に向け、乳用牛の増頭または更新にかかる経費を支援しました。

#### ■ （新）産地生産基盤パワーアップ事業（産業振興部）

ほうれんそうの産地化を進めるため、植栽条件の整備にかかる経費を支援しました。

また、燃油価格が高騰する中で、ぶどうのハウス加温栽培の負担を軽減し、経営基盤の強化を支援するため、燃油使用量の削減に効果があるヒートポンプの導入にかかる経費を支援しました。

### 第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」



ヒートポンプ  
(産地生産基盤パワーアップ事業)



「みよし和牛」販売の取組  
(農畜産物の生産力強化事業(畜産))



三次産ヒロハセネガ



令和4年度薬用作物栽培研修会



アスパラガス環境制御ハウス  
(スマート農業モデル事業(農業))

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
振興作物産地化推進支援事業	6,988		6,988	アスパラガス2件, 白ねぎ1件, ほうれんそう1件 新規植栽面積 100.3a
果樹・花き生産振興支援事業	4,688		4,688	ぶどう2件 新規植栽面積 78.2a
麦・大豆等生産振興推進事業	10,492		10,492	対象作付面積 105ha (42件)

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
地産地消応援事業	3,488		3,488	多品目2件, 白ねぎ3件, ほうれんそう2件, アスパラガス3件
6次産品化支援事業	1,691		1,691	加工施設の増改築2件
薬用作物等試験栽培・研究事業	1,391		1,391	試験栽培者13件
スマート農業モデル事業(農業)	2,428		2,428	〔実証事業〕 自動ロボット草刈機(1ヶ所) 〔システム構築〕 農業版iCD(アスパラガス・ぶどう) アスパラガス環境制御ハウス 5.18a(1件)
機能性作物等活用事業	826		826	クラフトビール製造1件
堆肥購入促進事業	2,979		2,979	水稲 40件 2,199t 野菜等 52件 780t
畜産経営支援事業	4,855		4,855	水田放牧促進事業 7頭 肉用牛ヘルパー利用助成 16戸 肥育和牛導入支援事業 14頭
和牛改良増進事業	6,055		6,055	優秀繁殖雌牛保留 40頭 優秀繁殖雌牛導入 5頭 優秀受精卵移植 3頭 ゲノム育種価検査 10頭
酪農経営支援事業	7,318		7,318	酪農ヘルパー利用助成 11戸 乳用牛導入・更新促進事業 24頭
産地生産基盤パワーアップ事業	7,965	国県支出金 7,965		ほうれんそう パイプハウス資材・被覆資材・灌水資材導入 26.28a
産地生産基盤パワーアップ事業(施設園芸エネルギー転換枠)	25,885	国県支出金 25,885		ぶどうハウス加温栽培用ヒートポンプ導入 24台
計	87,049	33,850	53,199	

## ウ 美しい風景を伝えるための農業

### 施策の概要

農村や森林のもつ環境保全機能を維持し、豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、地域や集落などの活動を支援しました。また、有害鳥獣による農作物被害の防止や農業基盤の整備に対する支援を行いました。

### 施策の成果

中山間地域等直接支払制度及び多面的機能支払制度により、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のための地域の共同活動や営農活動、農地などの保全活動を支援することにより、農業生産活動の向上が図られました。

手入れがされていない森林を整備することにより、森林のもつ公益的機能の維持が図られたほか、森林・林業の体験活動を通じて森づくりに対する理解を深めることができました。あわせて、森林環境譲与税を活用し、住宅などへ被害を及ぼす可能性のある危険木の伐採に対する支援など、安全・安心な生活につなげることができました。

また、有害鳥獣による農作物被害を防止するため、農業者や地域が防護柵などを設置する取組の支援により農作物被害の低減につなげるとともに、ICTを活用した集落ぐるみの捕獲活動に取り組むことで、駆除班任せであった鳥獣捕獲に対して地域住民自らが主体的に取り組む意識の醸成が図られました。さらに、地域のニーズに応じた農地・農業水利施設などの整備により、生産効率を高めるとともに、担い手への農地集積を促進しました。

### 事務事業の実施状況

#### ■ 中山間地域等直接支払交付金事業（産業振興部）

農業生産条件の不利な中山間地域などにおいて、集落などを単位として、農用地を維持・管理していくための取り決め（協定）に基づき、農業生産活動などを行う場合に、面積に応じて補助金を交付しました。

#### ■ 多面的機能支払交付金事業（産業振興部）

農業・農村の有する国土の保全や水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成などの多面的機能の維持・発揮を図るために地域の共同活動にかかる支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進しました。

#### ■ 環境保全型農業直接支払交付金事業（産業振興部）

地球温暖化防止や生物多様性保全など、自然環境の保全に資する農作物の生産に一体的に取り組んだ農業者団体などを支援しました。

#### ■ 農村環境保全事業（産業振興部）

中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度により交付金を受けていない地域における農業施設や農村部の住環境を守る活動に対し、地域の共同活動団体や個別の小規模農家に補助金を交付しました。



#### ■ 人・農地プランの推進（産業振興部）

地域の話し合いにより、地域の現況と将来の課題を共有し、今後の農地利用を担う中心経営体への農地の集約化を目的とした将来方針である「人・農地プラン」を7地区で作成しました。

これにより、令和4年度末時点での市内の「人・農地プラン」は67地区になりました。

また、農地中間管理機構を活用し、担い手へ76.3ヘクタールの農地が集積されました。

#### ■ 有害鳥獣被害防止柵設置事業（産業振興部）

イノシシなどによる農作物被害を防止するため、生産者個人が設置する防護柵や地域または集落で一体的に設置する防護柵の資材の支援を行いました。

#### ■ 有害鳥獣駆除班活動支援事業（産業振興部）

駆除班による捕獲活動に対する支援や駆除班の担い手の育成に対する支援を行いました。

#### ■ スマート農業モデル事業（鳥獣）（産業振興部）

集落ぐるみで行う鳥獣被害防止のための捕獲活動について、ICTを活用した監視カメラを2地域で導入実証し、省力化及び効率化による集落での効果的な捕獲活動を推進しました。



スマート農業モデル事業（鳥獣）

#### ■ 森林環境保全直接支援事業（産業振興部）

##### <市有林・分収林>

森林の有する多面的機能を発揮させるため、間伐などの森林施業とこれと一体となった森林作業道の開設などを実施しました。

#### ■ 森林経営管理事業（産業振興部）

森林環境譲与税を活用し、2地区の森林所有者に対し所有森林の経営管理にかかる意向調査や保育間伐、巡視などを実施しました。また、公共施設への風倒木被害の未然防止を目的として、4ヶ所のアクセス道周辺の森林整備を行うとともに、住宅などへ被害を及ぼす可能性のある危険木の伐採に対する支援を行いました。

#### ■ ひろしまの森づくり事業（産業振興部）

##### <環境貢献林整備事業>

15年以上手入れがされないまま放置された人工林について、間伐などの手入れを行うことで、森林が持つ公益的な機能を高める取組を支援しました。

##### <里山林対策>

手入れのされていない里山林の整備を行うとともに、森林、林業に対する理解を深める取組を支援しました。

■ **小規模農業基盤整備事業（産業振興部）**

地域農業の振興を図るため、危険度が高く緊急度の高いため池の整備を、広島県単独の補助事業を活用して行いました。

■ **農地耕作条件改善事業（産業振興部）**

担い手への農地の集積・集約化を推進するため、農業水利施設や農作業道、農地造成などの整備を、国庫補助事業を活用して行いました。

■ **農業水路等長寿命化・防災減災事業（産業振興部）**

農業水利施設の長寿命化、水管理労力軽減や維持管理コスト低減化、施設の機能低下が生じている箇所についての機能回復を目的として、国庫補助事業を活用して施設整備を行いました。

■ **農村地域防災減災事業（ため池等整備事業）（県営）（産業振興部）**

耐震診断調査で、健全度が低いと判定されたため池（狩又池、大池、蓮池、奥の谷池、新池・下池）の整備に対し、負担金を支出しました。

■ **備北南部地区広域営農団地農道整備事業（県営）（産業振興部）**

備北南部2期地区の工事・測量設計・移転補償などの事業に対し、負担金を支出しました。

■ **農地中間機構関連農地整備事業（県営）（産業振興部）**

小文地区ほ場整備にかかる工事や宇賀地区及び大力谷地区ほ場整備にかかる事前調査に対し、負担金を支出しました。

■ **（新）林道整備事業（産業振興部）**

林業専用道山家線の開設及び林道比和新庄線の法面改良などの整備を、国庫補助事業を活用して行いました。

■ **幹線林道比和・新庄線整備事業（県営）（産業振興部）**

「君田・布野区間」の君田町茂田～櫃田工区、布野町上布野明谷地区の工事・測量設計に対し、負担金を支出しました。

■ **小規模崩壊地復旧事業（産業振興部）**

人家の裏山のがけ崩れや浸食などによって危険となっている箇所について、山留工・山腹工などの整備を広島県単独の補助事業により行いました。

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
中山間地域等直接 支払交付金事業	497,438	国県支出金 373,078	124,360	集落協定 225 件 482,367 個別協定 10 件 15,071 協定面積 3,373ha
多面的機能支払交 付金事業	180,680	国県支出金 135,510	45,170	農地維持 159 件 105,776 協定農地 3,579ha 資源向上（共同）154 件 62,399 協定農地 3,493ha 資源向上（長寿命化）9 件 12,505 協定農地 284ha
環境保全型農業直 接支払交付金事業	1,232	国県支出金 924	308	堆肥の施用 3 件 2,282 a カバークロープ 1 件 108 a 有機農業 1 件 136 a
農村環境保全事業	2,761		2,761	補助金 33 件
有害鳥獣被害防止 柵設置事業	15,537		15,537	個人 263 件 集落 33 件
有害鳥獣駆除班活 動支援事業	21,047		21,047	駆除頭数 2,132 頭 （内訳）イノシシ 1,496 頭 シカ 636 頭
狩猟免許（第一種 猟銃）取得支援事 業	250		250	5 人
イノシシ・ニホン シカ捕獲報奨金	5,900		5,900	狩猟期間捕獲頭数 2,360 頭 （内訳）イノシシ 1,363 頭 シカ 997 頭
スマート農業モデ ル事業（鳥獣）	2,406		2,406	モデル集落 2 集落
森林環境保全直接 支援事業（市有 林）	7,223	国県支出金 4,911	2,312	間伐 1 地区 6.47ha 路網整備 1 地区 1,299m
森林環境保全直接 支援事業（分収 林）	28,864	国県支出金 23,682 起債 5,000	182	間伐 8 地区 34.02ha 路網整備 3 地区 1,590m
森林経営管理事業	70,157	その他 46,966	23,191	・意向調査対象（2 地区） 筆数 423 筆 面積 189.93ha ・経営管理権集積計画策定面積 20.18ha 保育間伐 34.34ha ・公共施設等森林整備 4 ヶ所 主要地方道府中世羅三和線 市道仁賀 212 号線 市道神杉 112 号線・市道三 若廻神線 県道清河江田川之内線 合計 2,220m ・危険木伐採事業 32 件

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
ひろしまの森づくり事業（環境貢献林整備事業）	35,111	国県支出金 35,111		人工林整備 61 地区 75.44ha
ひろしまの森づくり事業（里山林対策）	34,738	国県支出金 34,738		里山林整備 9 地区 13.90ha 体験学習活動 8 団体 519 人参加 里山保全活用 7 団体 作業道開設 275m
小規模農業基盤整備事業（ため池緊急整備・老朽ため池補強） 《下段：繰越明許分》	7,325	国県支出金 3,365 起債 1,100 その他 885	1,975	ため池緊急整備 6,731 工事 2 件 測量設計 4 件 老朽ため池補強 594 測量設計 1 件
	4,329	国県支出金 2,164 起債 500 その他 1,082	583	ため池緊急整備 工事 2 件
農地耕作条件改善事業 《下段：繰越明許分》	95,312	国県支出金 58,533 起債 15,700 その他 14,084	6,995	酒屋第 2 団地地区 ぶどう園地 56,100 設計 396 三次第 4 地区 神之瀬工区水路整備 16,900 下井田工区農地整備 1,271 田利工区水路整備 5,438 設計 550 宇賀掛谷地区 農地整備 14,184 設計 473
	110,073	国県支出金 76,696 起債 14,000 その他 16,435	2,942	酒屋第 2 団地地区 ぶどう園地整備 87,953 設計 506 三次第 4 地区 下井田工区農地整備 16,514 宇賀掛谷地区 農地整備 5,100
農業水路等長寿命化・防災減災事業 《中段：繰越明許分》 《下段：事故繰越分》	1,572	国県支出金 284 その他 61	1,227	酒屋第 2 地区 設計 451 岡西地区 設計 352 八次地区 設計 363 工事 406
	57,645	国県支出金 40,351 起債 7,700 その他 8,647	947	酒屋第 2 地区 パイプライン改修工事 39,633 岡西地区 パイプライン改修工事 18,012
	24,200	国県支出金 16,940 起債 3,200 その他 3,630	430	八次地区 頭首工改修工事

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
農村地域防災減災事業（ため池等整備事業）（県営） 《中段：繰越明許分》 《下段：事故繰越分》	761	起債 500	261	【県営事業負担金】 狩又池 1 負担割合：市7% 事業費 26 大池 79 負担割合：市7% 事業費 1,134 蓮池 142 負担割合：7% 事業費 2,035 奥の谷池 0 負担割合：7% 事業費 13 新池・下池 539 負担割合：7% 事業費 7,700
	8,293	起債 7,300	993	【県営事業負担金】 狩又池 3,848 負担割合：7% 事業費 54,974 大池 3,500 負担割合：7% 事業費 50,000 蓮池 945 負担割合：7% 事業費 13,500
	2,528	起債 その他 1,900 56	572	【県営事業負担金】 狩又池 2,528 負担割合：市7% 地元2% 事業費 28,073
備北南部地区広域営農団地農道整備事業（県営） 《下段：繰越明許分》	1,700	起債 1,600	100	【県営事業負担金】 備北南部2期地区 1,700 負担割合：10% 事業費 17,000
	11,118	起債 10,500	618	【県営事業負担金】 備北南部2期地区 11,118 負担割合：10% 事業費 111,180

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
農地中間機構関連 農地整備事業（県営） 《下段：繰越明許分》	12,574	起債 2,500	10,074	【県営事業負担金】 小文地区 負担割合：5% 事業費 1,788 35,780 宇賀地区 負担割合：10% 事業費 1,060 10,600 宇賀地区（単県） 負担割合：50% 事業費 1,977 3,954 大力谷地区（単県） 負担割合：50% 事業費 7,749 15,499
	3,583	起債 3,200	383	【県営事業負担金】 小文地区 負担割合：5% 事業費 3,583 71,664
林道整備事業 《下段：繰越明許分》	17,419	国県支出金 起債 10,707 6,700	12	林道比和新庄線 法面改修工事 8,483 林業専用道山家線 林道開設工事 7,990 設計 946
	42,139	国県支出金 起債 26,875 14,400	864	林業専用道山家線 林道開設工事 19,800 設計 792 林道比和新庄線 法面改修工事 16,795 測量設計 4,752
幹線林道比和・新 庄線整備事業 《下段：繰越明許分》	651	起債 その他 600 4	47	【県営事業負担金】 君田・布野区間 負担割合：5% 事業費 651 13,046
	6,183	起債 その他 6,100 42	41	【県営事業負担金】 君田・布野区間 負担割合：5% 事業費 6,183 123,684
小規模崩壊地復旧 事業 《中段：繰越明許分》 《下段：事故繰越分》	41,596	国県支出金 起債 その他 20,796 14,000 5,333	1,467	事業費 工事 13件 測量設計 3件
	36,320	国県支出金 起債 その他 18,158 13,600 4,540	22	事業費 工事 6件
	13,262	国県支出金 起債 その他 6,631 2,000 3,074	1,557	事業費 工事 2件
計	1,401,927	1,126,393	275,534	

## エ 農林畜産業等に携わる人材育成

### 施策の概要

自立した農業経営をめざす認定新規就農者の営農初期段階の投資などの負担軽減と早期の経営安定を図るため、施設や機械などの導入に対する支援を行いました。

また、農業従事者の高齢化や後継者不足などが進む中、地域農業の振興と経営発展を図るため、新たな農業の担い手として従業員を雇用する集落法人などに対する支援を行いました。

### 施策の成果

広島県、JA、株式会社 JA アグリ三次及び市が連携し、認定新規就農者の育成及び支援に取り組み、新たに7経営体を認定新規就農者として認定し、認定新規就農者は累計35経営体となりました。また、地域おこし協力隊などを活用し、令和5年度からの研修生1人の人材確保に努めました。

認定農業者では、新たに3経営体を認定しました。

集落法人などでは、機械の共同利用など担い手の連携のしくみづくりに取り組みました。また、農業の担い手となる従業員は、新たに6経営体で6人が雇用されました。

### 事務事業の実施状況

#### ■ 【担い手育成・強化事業】（産業振興部）

##### ＜農業次世代人材投資事業＞

次世代を担う農業者となることをめざし、独立、自営就農する認定新規就農者に対し、経営開始時に必要な資金を支援しました。

##### ＜認定新規就農者育成支援事業＞

認定新規就農者の農業経営の早期安定化を図るため、栽培条件の整備や技術習得などの経費に対して支援を行いました。

##### ＜農地集積支援事業＞

農業所得の向上と経営安定、効率化を図るため、賃貸借権の設定及び農地の利用集積により経営規模の拡大を行った法人を含む認定農業者を支援しました。

##### ＜集落法人等新規雇用事業＞

新たな農業の担い手として、新規に従業員を雇用した集落法人などの雇用にかかる経費に対して支援を行いました。

##### ＜認定新規就農者リースハウス等整備支援事業＞

早期経営の安定のため、認定新規就農者のハウスなどの施設にかかるリース事業に要する経費を支援しました。

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
農業次世代人材投資事業	13,753	国県支出金 13,753		対象者 11人
新規就農者育成総合対策事業	4,500	国県支出金 4,500		対象者 3人
認定新規就農者育成支援事業	16,738		16,738	申請件数 9件
農地集積支援事業	8,861		8,861	集積面積 63.04ha 21 経営体 (内訳：17 法人, 4 個人)
集落法人等新規雇用事業	8,250		8,250	集落法人等雇用者 8人 (新規雇用 6人, 継続雇用 2人)
農業研修者受入支援事業	600		600	研修生 1人 受入農家 3件
認定新規就農者リースハウス等整備支援事業	3,472		3,472	対象者 4人 面積 139.2 a
計	56,174	18,253	37,921	



### (3) 商工業 ～みんなが働くことができるまち～

#### ア 商工業の活性化

##### 施策の概要

活気のある商工業の振興のため、中小企業者の経営基盤の確立や産学官連携の推進による特色ある事業を推進しました。また、新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰による影響を受けた中小事業者への各種支援を行いました。

##### 施策の成果

プレミアム付商品券発行事業への支援や地域経済活性化キャッシュレス推進事業、住宅リフォーム支援事業により新たな消費を喚起し、また、中小企業者未来投資支援事業などにより中小企業の経営基盤の強化支援を行いました。そのほか、原油価格・物価高騰対策として各種補助事業により、経営の持続を支援しました。

##### 事務事業の実施状況

###### ■ 住宅リフォーム支援事業（産業振興部）

建築関連工事の促進により地域経済の活性化及び市民の住環境の向上を図るため、住宅リフォームに要する経費に対して補助を行いました。

###### ■ 小規模事業者経営改善資金利子補給事業（産業振興部）

事業者の経営の安定と発展を図るため、日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金を利用した事業者に対して利子補給金を交付し、金利負担の軽減を行いました。

###### ■ 産学官連携事業（産業振興部）

三次イノベーション会議の事業として、市内事業者からの産学官連携推進事業への相談を3件受け付けました。

###### ■ プレミアム付商品券発行事業（産業振興部）

地元消費の拡大及び地域経済の活性化を目的として、三次商工会議所及び三次広域商工会が実施する10%のプレミアムが付いた商品券発行事業（総額5億5,000万円；50,000冊）の支援を行いました。

###### ■ 地域経済活性化キャッシュレス推進事業（産業振興部）

地元消費の拡大や地域経済の活性化とあわせてキャッシュレス決済の推進を目的として、20%のポイントを付与する地域経済活性化キャッシュレス推進事業を実施しました。

###### ■ 中小企業者金融支援事業（産業振興部）

令和2年度から継続して、コロナ対応資金として借入した運転資金にかかる2年目の利子補助を行いました。

■ **（新）運送事業者等原油価格高騰対策支援事業（産業振興部）**

道路運送事業等を営む運送事業者などに対し、事業に要した燃料の購入費用の一部について支援しました。

■ **（新）電気料金高騰対策事業者支援事業（産業振興部）**

電気料金の大幅な上昇の影響を受けた市内の法人または個人事業者に対し、事業に要した電気料金の一部について支援しました。

■ **（新）補助金等申請事務サポート事業（産業振興部）**

国、広島県及び三次市が実施する新型コロナウイルス感染症に伴う事業者向け補助金などの申請に関連し、行政書士及び社会保険労務士へ委託した際に要した経費の一部について補助しました。

■ **（新）店舗連携創出支援事業（産業振興部）**

コロナ禍において、店舗間の連携により販売促進や集客を図る取組を行う店舗や商店街団体などが実施する店舗連携事業に要する経費の一部について支援しました。

■ **（新）中小企業者未来投資支援事業（産業振興部）**

事業の拡大、事業の効率化若しくは人材不足を補う設備などの取得または先進的なDXの推進に要する経費の一部について補助を行いました。

■ **中小事業者月次支援金（産業振興部）**

新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う緊急事態宣言の延長やまん延防止措置等重点措置などの発令により、売上が20%以上30%未満減少した中小事業者に対し、減少した売上額の差額（限度額：法人10万円・個人5万円）を支援しました。（繰越事業）

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
住宅リフォーム支援事業	8,760		8,760	住宅 96 件
小規模事業者経営改善資金利子補給事業	351		351	5 件
産学官連携事業	300		300	申請 3 件
プレミアム付商品券発行事業	53,979	国県支出金 53,000	979	発行額 5 億 5,000 万円
地域経済活性化キャッシュレス推進事業	68,548	国県支出金 65,000	3,548	対象店舗取引額 384,120 千円
中小企業者金融支援事業	26,476	国県支出金 26,000	476	103 件
運送事業者等原油価格高騰対策支援事業	28,901	国県支出金 25,000	3,901	50 件
電気料金高騰対策事業者支援事業	83,756	国県支出金 81,836 その他 1,920		478 件
補助金等申請事務サポート事業	218		218	10 件
店舗連携創出支援事業	1,144	国県支出金 1,000	144	9 件
中小企業者未来投資支援事業	23,207	国県支出金 23,000	207	30 件
中小事業者月次支援金《繰越明許分》	7,656		7,656	96 件
計	303,296	276,756	26,540	

## イ 雇用の確保と維持に向けた企業誘致と企業支援

### 施策の概要

安定的かつ継続的な雇用の場を確保し、経済の活性化を図るため、新たな産業用地（三良坂産業団地）の確保のほか、既存の産業用地（四拾貫・三良坂用地）への誘致に向けた活動や情報発信を行いました。

また、人材確保支援事業（みよし産業応援事業）や雇用労働対策協議会事業である「高校生キャリア育成事業」「三次市就職・就農・定住相談・面接会」及び企業ガイドブックのデジタル化を通じ、労働力の確保に取り組みました。

### 施策の成果

コロナ禍で行動制約を伴う中、市内企業を重点的に訪問し、操業状況などについてヒアリングを行い、市が実施した経済対策事業の政策立案の参考にしました。

企業誘致においては、三良坂産業団地にこれまで交渉を重ねてきた株式会社シンセイ（本社：福島県）の新規立地が決定しました。

オフィス系事業所の企業誘致として、広島県と連携し首都圏の企業担当者を対象にワーケーション実証実験などに取り組みました。

人材確保支援事業 7 件の実施の結果、新たに 3 社 6 人の労働力確保に繋がりました。

### 事務事業の実施状況

#### ■ 企業誘致推進事業（産業振興部）

株式会社帝国データバンクと連携し、全国に産業用地の情報発信を行ったほか、各種セミナーに参加しました。

#### ■ コワーキング施設等整備支援事業（産業振興部）

多様な働き方の推進のため、民間事業者が進めるコワーキング施設整備に対し補助しました。

#### ■ ワーケーションモニター事業（産業振興部）

日本航空株式会社が事務局として運営しているワークスタイル研究会と連携を図り、研究会参加企業の総務部門に所属している 5 社の社員 8 人が 1 泊 2 日で市内の主要な観光施設を見学・体験するとともに、民間企業各社における新たな働き方としての可能性を探るためのモニターツアーを開催しました。



ワーケーションモニター事業で各施設を訪問

### 第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

#### ■ 工場等設置奨励事業（産業振興部）

工場等設置奨励金 3 件，雇用奨励金 2 件（計 14 人雇用分），水道助成金 1 件の交付を行いました。

#### ■ オフィスビジネス系事業所設置奨励事業（産業振興部）

情報サービス業 2 社の市内事業所開設・移転を支援しました。

#### ■ 雇用労働対策事業（産業振興部）

雇用労働対策協議会の活動として，みよし就活ネットでの企業紹介や企業ガイドブックの発行を通じ，市内企業への就業と定住の促進及び企業の PR に取り組みました。

#### ■ 新たな産業用地の取組（産業振興部）

三良坂産業団地においては，これまで交渉を行っていた株式会社シンセイの新規立地が決定しました。

そのほか，四拾貫産業用地及び東酒屋産業用地について情報発信を行いました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
企業誘致推進事業	3,273		3,273	市外訪問企業数 27 社 市内訪問企業数 延 22 社
コワーキング施設等整備支援事業	4,000	国県支出金 2,000	2,000	コワーキング施設整備 1 件
ワーケーションモニター事業	672	国県支出金 335	337	ワーケーション事業に向けた調査
工場等設置奨励事業	35,446	国県支出金 7,000	28,446	工場等設置奨励金 3 件 雇用奨励金（計 14 人雇用） 2 件 水道助成金 1 件
オフィスビジネス系事業所設置奨励金	106		106	オフィスビジネス系事業所設置認定 2 件 奨励金 1 件
【みよし産業応援事業】人材確保支援事業	1,034	起債 1,034		人材確保支援事業 7 件 （3 社 6 人の採用）
雇用労働対策事業	2,400		2,400	企業ガイドブックのデジタル化及び印刷・配布 1,500 部
計	46,931	10,369	36,562	

## ウ 活力あるお店づくりとにぎわいの創出

### 施策の概要

活力とにぎわいの溢れる商店街の再生や元気なお店づくりを進めるため、空店舗の解消や、特色あるイベントの開催支援など、ハードとソフトの両面から事業の推進に努めました。

### 施策の成果

みよし産業応援事業の中で中小企業者支援5事業と商店街等支援1事業による補助（35件）を行い、コロナ禍の中、商店街や商店などの事業展開の支援を行いました。

意欲ある商店や商店街の独自性のある取組の支援を通じて、活力あるお店づくりとにぎわいの創出を推進しました。

### 事務事業の実施状況

#### ■ 【みよし産業応援事業】中小企業者等支援（産業振興部）

産業の活性化を図るため、空店舗出店支援事業や人材確保支援事業など、積極的に事業を展開する事業者への支援を行いました。

#### ■ 【みよし産業応援事業】商店街等支援（産業振興部）

空店舗を減少させるなど商店街のにぎわいと活力あるお店づくりを進めるため、商店街等活性化支援事業により商店街への支援を行いました。

#### ■ （新）【みよし産業応援事業】販路拡大支援事業（産業振興部）

三次製品の販路拡大・PRを目的とし、「ひろしまブランドショップT A U」において、「みよしブランド」に認定されている事業者が日替わりで自社商品のPR販売を行ったほか、本市の特産品のPR活動を行いました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
【みよし産業応援事業】 中小企業者等支援	7,336	起債 6,757	579	空店舗出店支援事業 7件 人材確保支援事業 7件 ファミリーショップ運営支援事業 2件 三次ブランド販路拡大支援事業 13件 事業承継支援事業 1件
【みよし産業応援事業】 商店街等支援	451	起債 451		商店街等活性化支援事業 5件
【みよし産業応援事業】 販路拡大支援事業	962	起債 164	798	出店 8事業所
計	8,749	7,372	1,377	

## エ ものづくり・商売に携わる人材の育成と起業促進

### 施策の概要

産業界が必要とする人材の確保及び育成を行うため、職業訓練による人材の育成を進めました。

### 施策の成果

職業訓練委託事業により、従業員のスキルアップによる企業への支援と、資格の取得による新規就労の促進を図りました。

### 事務事業の実施状況

#### ■ 職業訓練委託事業（産業振興部）

就職活動中の市民及び市内事業所の従業員を対象とし、受講料無料で委託訓練事業を行い、求職者の就業機会の拡大と市内企業の従業員のスキルアップに努めました。スキルアップや資格取得受験準備など企業や求職者などのニーズに即した 26 講座を開設し、210 人の受講がありました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一 般 財 源	
職業訓練委託事業	9,415		9,415	講座数 26 講座, 受講者 210 人
計	9,415		9,415	

#### (4) 観光 ～人が集まり、にぎわいがあるまち～

##### ア 美しく懐かしい風景と伝統を活かした魅力の向上

###### 施策の概要

三次地区の歴史、伝統及び文化に学び、継承する取組を通じて、郷土への誇りの醸成と交流による創造的な活動の活性化を図るため、美しい景観づくりに向けた三次町の歴史的な街なみ整備や三次地区拠点施設を核とした三次地区の文化・観光まちづくりの取組を進めました。

###### 施策の成果

三次町の歴史的な街なみ整備の一環として、これまでに進めてきた石畳整備や電線の地中化に加え、家屋の修景整備を継続的に進めてきたことにより「趣」のある街なみ景観が形成されています。

また、平成31年4月26日に開館した、日本初の妖怪をテーマとした博物館「湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）」と「三次地区文化・観光まちづくり交流館」は、外部有識者の意見や指定管理による民間の考え方を取り入れながら、コロナ禍にありながらも所蔵資料を中心に企画展を開催し、文化・観光まちづくりの更なる推進につながりました。

###### 事務事業の実施状況

###### ■ 三次町街なみ環境整備事業（建設部）

三次町の上市・太才通り、三次本通りの沿道地区（延長約1.4km）において、歴史的環境の保全や資源の活用を通して、居住環境の向上と地域活性化を図るため、建築物などの修景に対する補助金の交付を行っています。令和4年度の交付申請はなかったものの、平成12年度から行ってきた補助件数は53件となりました。

三次もののけミュージアムの開館により、多くの方が三次町を訪れている中、三次町エリアの周遊性をさらに向上させる必要があります。市民が誇りに感じられる景観の形成に向け、今後も歴史的な街なみ整備を推進していきます。



三次町歴史的街並み景観形成地区



三次地域交流館 木綿兎（もめんと）



■ 三次地区拠点施設運営事業（地域振興部）

開館4年目を迎えました。四季ごとに常設展の展示替えを行うとともに、年間4回の企画展に取り組みました。また、秋の企画展「予言獣のチカラ アマビエとアマビコたち」では京都大学附属図書館所蔵の「アマビエ」の資料を借用展示するとともに、図録を作成し関係機関への配布を行うなど学術資料として記録しました。その他、もののけトークやワークショップの開催など感染症対応を行いながら開催しました。

湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）運営協議会を年2回開催し、当館の魅力向上のため、学術的・教育的な観点を中心に助言をいただきました。この助言を今後の運営に役立てていきます。

三次地区拠点施設内のSL 展示場の上屋が錆などで老朽化が進んでいたことから塗装改修工事を行いました。

令和3年度に引き続き、中国3県が誇る怪異の館「小泉八雲記念館」「水木しげる記念館」「湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）」の3館がタッグを組んだ「3館周遊パースポーツ事業」に取り組みました。



夏休み企画展関連ワークショップ  
「河童メモスタンド作り」



三次地区拠点施設 SL 展示場  
屋根塗装工事

■ 鶺鴒伝統文化保存継承事業（産業振興部）

三次を代表する伝統文化である鶺鴒を次代に伝えていくため、鶺鴒匠や舵子の賃金、鶺鴒の餌代などを補助しました。

■ 神楽魅力アップ事業（産業振興部）

広島広域都市圏主催の神楽イベントなどについて、三次市観光振興神楽協議会（市内神楽団6団体加入）を通じて神楽団を派遣することで、神楽団の活動支援と本市のPRにつなげました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など	
		特 定 財 源	一般財源		
三次町街なみ環境整備事業	13,300	国県支出金 起債	6,650 6,300	350	本通り広場整備工事
三次地区拠点施設運営事業	61,529	その他	3,642	57,887	企画展年4回 出前講座3回 入館者数41,722人
鶺鴒伝統文化保存継承事業	15,581			15,581	三次鶺鴒伝統文化振興会へ補助
計	90,410		16,592	73,818	

## イ 観光資源を活かした集客力の向上

### 施策の概要

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、人々の生活意識や行動は変化しました。観光のトレンドは大きく変わり、団体旅行から個人旅行へ、店頭予約からウェブ予約へ、見る観光から体験する観光の需要が一層高まり、「旅の個人化」が進みました。

新型コロナウイルス感染症の影響を依然として受けたものの、国・県の施策である全国旅行支援に連動して、三次市宿泊施設誘客事業（三次に泊まりんさいキャンペーン）や市内周遊促進支援事業（三次めぐりキャンペーン）に取り組みました。

また、三次版 DMO である「一般社団法人三次観光推進機構」と地域の事業者などとの協働により、各地域での新たな地域資源の発掘を行い、商品開発による観光事業の創出を支援しました。

あわせて、広島広域都市圏協議会の活動として、広島・宮島・岩国地方観光連絡協議会での活動やユニークベニュー等利用促進協議会（ユニークベニューとは、歴史的な建物で会議やイベントを行うこと。）のモデル事業を視察するなど広域的な取組に参加しました。

### 施策の成果

観光客の滞在時間の延伸と宿泊客の増大を目標に掲げ、広島広域都市圏協議会の活動の中で、広島市を中心とした近隣圏域での誘客を進めました。感染症対策の緩和とイベントなどの再開により、令和4年の総観光客数は192.1万人になり、令和3年の総観光客数187.5万人と比較すると4.6万人の増加がみられました。

また、全国旅行支援や本市独自の観光促進施策により、令和4年の宿泊者数は15.5万人になり、令和3年の宿泊者数13.9万人から大きく増加しました。

宿泊者数の増加に伴い、令和4年の総観光消費額は62.8億円に上り、令和3年の総観光消費額52.6億円と比較して19%上昇しました。

また、令和3年度に引き続き、（一社）三次観光推進機構により、地域の事業者と協働した体験型観光商品の開発支援を行い、集客力の向上とあわせて、今後の「稼ぐ力の創出」につなげました。

### 事務事業の実施状況

#### ■ （新）観光地域づくりを進める団体への事業補助（産業振興部）

地域にある観光資源を保全する活動や観光資源を活用した地域づくり活動などを推進するため、4つの地域団体に対して事業実施にかかる補助を行いました。

#### ■ 地域イベントへの開催補助（産業振興部）

各種機関・団体などで構成する実行委員会が開催する地域イベント・行事への補助を行いました。

#### ■ （一社）三次観光推進機構による観光商品の開発支援（産業振興部）

（一社）三次観光推進機構は、NPO法人ほしはら山のがっこうや（一社）寿三郎みよしと協働して、地域の観光資源を活用したモニターツアーの実施など観光商品の造成による観光事業を創出する活動の支援を行いました。

■ (新) 三次市内宿泊施設誘客事業(三次に泊まりんさいキャンペーン) (産業振興部)

新型コロナウイルス感染症経済対策として、14の市内協賛宿泊施設へ宿泊した観光客などに、プレミアム付き商品券(三次藩札)を合計29,301枚配付し、宿泊客の誘客とあわせて、市内での消費喚起を図りました。三次藩札事業の分析から、飲食などのサービス関連に使用された割合が高く、コロナ禍の影響を受けた飲食店への集客として効果的な支援策になりました。



キャンペーンロゴ

■ (新) 日帰りじゃあ、もったいない! 三次わくわくステイキャンペーン (産業振興部)

(一社)三次観光推進機構は、全国旅行支援や三次市宿泊施設誘客事業に連動し、三次まち歩きアプリ「三次わくわくさんぽ」を活用して、協賛宿泊施設で利用できる1,000円の宿泊クーポンを発行しました。クーポン券の利用枚数は1,153枚であり、宿泊者数の増加に貢献しました。



キャンペーンロゴ



アプリでのクーポン発券

■ (新) 市内周遊促進支援事業(三次めぐりキャンペーン) (産業振興部)

新型コロナウイルス感染症経済対策として、44の市内協賛施設のうち3つを周遊した観光客などの応募者に、抽選で本市の特産品を提供するポイントラリーを実施しました。応募総数は1,686件であり、協賛観光施設や特産品の生産者などへの支援に加え、観光資源の周知と観光消費額の増大につながりました。



キャンペーンロゴ

■ 広島広域都市圏協議会の取組（産業振興部）

広島広域都市圏イベント情報紙「り～ぶら」や広島・宮島・岩国地方観光連絡協議会の観光ガイドブックへの記事掲載とノベルティグッズの作製を通じて、観光情報を広く周知しました。

また、ユニークベニュー等利用促進協議会に加入し、「宮島弥山 大本山 大聖院」で開催されたユニークベニューのモデル事業を視察しました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
観光推進事業補助	27,156		27,156	観光団体（4団体） 24,667千円 地域団体（4団体） 2,364千円 全市的イベント 125千円
三次市内宿泊施設 誘客事業	30,525	国県支出金 30,000	525	協賛宿泊施設 19施設 藩札交付枚数 29,301枚
市内周遊促進支援 事業	11,998	国県支出金 11,000	998	協賛施設 51施設 応募数 延 1,632通
計	69,679	41,000	28,679	

## ウ 観光推進の組織づくり・情報発信機能の強化

### 施策の概要

新型コロナウイルス感染症の影響で観光のあり方が大きく変化し対応が求められる中、地域が一体となって、既存資源を最大限に活用し、本市の観光が「稼ぐ力の創出」につながるよう、三次市観光戦略に基づき、観光にかかる諸施策を進めました。

また、近隣観光の魅力が見直されたことから、広島市内を中心とした県内をメインにして、中国地方の各エリアに、広告、テレビ番組などによる観光情報の発信、SNS を活用した有料広告や三次まち歩きアプリのインストールキャンペーンなどの観光プロモーション事業を実施しました。

### 施策の成果

三次市観光戦略に基づき、令和4年4月1日には、三次版 DMO である（一社）三次観光推進機構は、市内にある各観光協会と統合しました。本市全体の観光を牽引する組織が誕生したことで、組織強化が図られ、市民と協力しながら、観光における「稼ぐ力の創出」という共通の目標に向かって観光事業に取り組む体制が整いました。

### 事務事業の実施状況

#### ■（新）観光戦略推進業務（産業振興部）

（一社）三次観光推進機構へ委託し、従来の新聞・雑誌広告などの掲載やテレビ番組の放映のほかに、Instagram や Facebook を活用した有料広告の掲載、インフルエンサーによる情報発信など、SNS を活用した事業を行うことで、本市の魅力を発信しました。

情報発信のほかに、観光素材ライブラリの公開や SNS 講習会の開催、行楽シーズンに東酒屋エリアに試験的に観光案内所を設置する観光おもてなし拠点の運営を行いました。

#### ■ 観光交流推進業務（産業振興部）

「三次市観光公式サイト」の情報更新と Facebook などを活用した情報発信、ボランティアガイド養成講座などを（一社）三次観光推進機構へ業務委託しました。

#### ■（新）観光戦略推進事業（産業振興部）

観光のマーケティングとプロモーション事業を行う（一社）三次観光推進機構の活動に対し、補助を行いました。

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
観光戦略推進業務	15,582		15,582	情報発信 ・テレビ放映 1回 ・新聞紙面広告 1回 ・雑誌広告掲載 3回 ・インフルエンサーによる SNS 発信 33回 SNS 講習会参加者 延 63人 臨時観光案内所の利用 432人
観光交流推進業務	8,986		8,986	情報発信 ・Twitter 投稿 119回 ・Facebook 投稿 52回 ・観光公式サイト更新 31回
観光戦略推進事業補助金	80,000		80,000	(一社) 三次観光推進機構
計	104,568		104,568	

(5) 定住・交流 ～ちょうどいい田舎まち～

ア 定住のまちづくり

イ 交流の推進

施策の概要

平成30年度から継続して実施している一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所による「地域の未来づくりアドバイス事業（地域人材育成・派遣事業）」に伴う地域分析・調査報告書において、引き続き、若い女性の転出超過による影響が喫緊の課題とされています。このことから、引き続き「三次市移住・定住ポータルサイト」において、若い女性をターゲットにした魅力あるライフスタイルや空き家情報バンク物件の情報発信を行い、SNS（InstagramやFacebookなど）を活用して本市でのリアルタイムな日常の写真や季節の風景などを紹介し、三次暮らしを発信しました。

「ずっと住み続けたいまち本部」で活躍されたメンバーが定住施策の現地アドバイザーとして地域の実情を説明し、大学との連携では学生を受け入れ、地域の現状を説明するなどの対応をしていただきました。

さらに、新型コロナウイルス感染症により、地方移住への関心が高まる中、三次の自然の豊かさや農村の風景、子育て支援の充実など、本市の魅力や価値を改めて感じていただけるよう、市単独での定住フェアを開催しました。また、広島県の里山ウェーブ事業を活用して市外から実際に本市にお越しただいて、本市の地域資源の活用策や支援方法についての提案をいただくなど、ふるさとサポーターの改善による関係人口の拡大を見据えた取組を展開しました。

また、移住コーディネーターによる本市への移住前後の相談やサポート、空き家情報バンク制度の促進、移住に関する情報発信などの取組により、空き家情報バンクへの問い合わせや相談件数が増加しました。

施策の成果

広島県交流・定住促進協議会などが主催する大都市圏での定住フェアに令和4年度は積極的に参加し、Uターンを検討されている方や農ある暮らしに興味がある方、本市で事業を実施したい方などの相談を受け、三次暮らしを知っていただき、アピールすることができました。コロナ禍でも、市独自の移住イベントを開催し、オンラインによる移住相談は回数を増やししながら、本市の魅力を感じてもらえる内容を企画して、移住・定住を進めました。

移住コーディネーターの継続した設置により、移住相談希望者からの相談に対して丁寧に対応することができ、16件（移住者35人）の空き家情報バンクの成約につながりました。

また、広島県の事業と連携を図り、東京都をはじめ、神奈川県、兵庫県などに在住するふるさとサポーターの方々に、実際に本市にお越しただき、市外から見た地域資源の活用や課題解決に向けた取組や「ふるさとサポーター制度」の改善に向けた提案をいただき、地域と多様に関わる“関係人口”拡大のきっかけづくりを展開しました。

令和4年度に任期を終えた地域おこし協力隊2人は、任期終了後も新規就農者として、本市に引き続き定住し、活躍しています。



里山ウェブ事業メンバー



里山ウェブ事業発表

## 事務事業の実施状況

### ■ 空き家情報バンク制度（地域振興部）

登録いただいた市内の空き家は、移住を考えている方の居住先として、物件情報をポータルサイト内で紹介しています。令和3年度から移住コーディネーターを配置し、さらに電子申請システムを導入したことで、これまでよりも丁寧な物件案内や、移住相談を受けることができ、空き家を探している方から783件の相談がありました。集落支援員とも連携しながら令和3年度より19件多い63件の現地案内を行った結果、16件の成約、35人の移住につながりました。

空き家紹介ページには、登録されている物件の地域の地図や、一部の物件はインターネット上で家の間取りや様子が分かりやすく閲覧できるように360°ビューイングシステムを導入して掲載し、どのような地形や物件かなど、利用者にとって分かりやすい情報発信に努めました。



電子申請システムを導入



360°ビューイングシステムを導入した空き家物件

### ■ 空き家バンク改修補助金（地域振興部）

空き家情報バンク制度を通して物件を購入し、定住のために必要な改修を行う場合、改修費用の一部を補助する事業を行い、令和4年度は7件の利用があり、22人が移住されました。

### ■ Uターン者実家等改修補助金（地域振興部）

Uターン者が定住をするために実家などを改修する場合、改修費用の一部を補助するもので、令和4年度は22件の交付を行い、43人が移住されました。

### ■ 移住者住宅取得奨励金（地域振興部）

市外に2年以上居住している移住希望者や、転入して3年以内の移住者が市内に住宅を取得した場合に奨励金を交付する事業で、令和4年度は45件の交付を行い、128人が移住されました。



■ 宅地購入・新築奨励金交付事業（地域振興部）

U/I ターン者が市内に住宅を新築し、他の事業の要件に該当しない場合に家屋や土地の固定資産税相当額を助成する奨励金交付事業を行い、14件交付しました。（うち新規申請件数2件）

■ 定住相談事業（地域振興部）

ふるさと回帰支援センター（東京都内）で、地方での暮らしに興味を持つ方を対象に、三次が移住の対象でなくても、三次に関心を持っていただき、「三次が気になる」または「興味がある」というレベルに引き上げることを目的とした、三次を知っていただくセミナーを三次市単独事業として開催しました。12人の参加があり、その内、すでに三次に興味のある移住希望者3人には、相談ブースを設置して、三次暮らしの魅力や仕事、住まいのことなど、移住に関する課題や疑問に対して移住コーディネーターが相談を受けました。また、広島県などが主催する定住フェアにも積極的に参加し、合計52人の移住希望者の皆さんが本市ブースにお越しになり、地方移住における暮らしの具体的なイメージなどをお話することで、実際に三次に行ってみたいというお声をいただきました。



【三次市単独開催】  
みよしまるごとツナグセミナー  
in TOKYO



もっとまるごと！オールひろしま移住フェア  
2022

■ 定住対策情報発信（地域振興部）

令和2年度に開設した三次の暮らしやすさを発信するWEBサイト三次市移住・定住ポータルサイト「みよしSTYLE ツナグ」では、実際にIターンやUターンをされて“みよし暮らし”を満喫している移住者の方や地域おこし協力隊員の活動の紹介をしました。また、InstagramやFacebookを活用し、三次の日常の写真や季節の風景などを紹介しました。



みよしSTYLE Instagram

#### ■ ふるさと納税（地域振興部）

本市産品のさらなる魅力発信及び寄附受付窓口の拡大のため、新たにふるさと納税サイト「さとふる」での寄附の受付を10月から開始しました。寄附受付窓口を拡大したことにより、全体で昨年度よりも14,223,557円多い、90,490,557円（6,009件）の寄附をいただきました。

また、新たな取組として、ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」でふるさと納税制度を活用して行うクラウドファンディング（ガバメントクラウドファンディング）を実施しました。女子野球を応援することを目的に、カーター記念球場の汲み取り式の男女兼用和式便器を改修するプロジェクトを実施しました。3ヶ月間寄附を募った結果、158件、2,177,557円の寄附をいただき、トイレの改修費用に充てることができました。あわせて、女子野球の周知をすることができました。



ガバメントクラウドファンディングの寄附受付サイト

#### ■ 地域おこし協力隊事業（地域振興部）

令和3年度で活動を終えた隊員のうち、3人の隊員の起業に対し、三次市地域おこし協力隊起業支援補助金を交付し、新規就農者としての起業を支援しました。

令和4年度は、4人の地域おこし協力隊員が新規就農をめざして活動を行いました。そのうち令和4年度末で任期を終えた2人は、いずれも本市へ定住し、新規就農者として本市の振興作物であるほうれんそうとぶどうの栽培に携わっています。

また、市役所ほっとニュースや市広報紙などで地域おこし協力隊のしくみや隊員の活動について紹介し、周知を図りました。



市役所ほっとニュースでの活動紹介

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
空き家情報バンク制度	132		132	新規登録件数 45 件 現地案内件数 63 件 移住者数 35 人 16 世帯 (市内間契約 5 件)
空き家バンク改修補助金	5,062		5,062	7 世帯 22 人 (うち小学生以下 3 人)
Uターン者実家等改修補助金	7,824		7,824	22 世帯 43 人 (うち小学生以下 9 人)
移住者住宅取得奨励金	6,750		6,750	45 世帯 128 人 (うち小学生以下 43 人)
宅地購入・新築奨励金 交付事業	1,093		1,093	交付件数 14 件 (新規申請件数 2 件)
定住相談事業 (移住コーディネーター 制度)	3,290		3,290	定住イベント 52 人 アシスタ lab.共催 定住相談会 2 人
定住対策情報発信	499		499	ポータルサイト運用保守 業務
ふるさと納税(発送・手 数料等の経費)	46,167		46,167	寄附件数 6,009 件 寄附金額 90,490,557 円
地域おこし協力隊事業	19,000		19,000	隊員数 4 人
計	89,817		89,817	